

わがまち三原の今と昔 ～三原城の歴史をたどる～

育成をめざす資質・能力：主体性 協働性 探究力 論理的思考力・表現力 知識・技能

1 単元について

地域や学校の特色と教師の願い

本校の南には、三原城跡があり、児童の多くは三原城跡の前を通過して通学している。三原城は、永禄10年（1567年）に、毛利元就の三男・小早川隆景によって築城された。現在は、天主台や舟入櫓の一部しか残っていないが、当時は日本有数の広さだったと言われ、満潮時に城が海に浮かぶように見えたことから「浮城」とも呼ばれている。児童にとって、校区内にある三原城跡は身近な存在ではあるが、三原城の役割や当時の城の敷地面積、歴史について詳しく知っている児童は少ない。

児童の興味・関心に即して、前単元では、三原のタコを扱ったが、本単元では、三原城を扱う。どちらも三原の観光を支える「食」と「歴史」であり、長い間それを支えてきた人々がいる。その方たちの思いや願いを知り、自分たちにできる様々な取組を考え、実行する中で、郷土愛を育み、郷土への誇りをもつ児童に育ってほしい。

児童の実態

本学級の児童は、昨年度の総合的な学習の時間で、地域の伝統・やっさの歌や踊り、地方の練習を通して、地域の伝統への理解を深めてきた。下級生を対象とした「やっさの引継ぎ会」を計画し実施する等、自分たちの思いや願いを叶えるために行動する中で、主体性や協働性を育んできた。

年度始めに実施したアンケートによると、三原に関する児童の興味・関心は多岐にわたっており、タコや三原城の他にも、小早川隆景、テングソース、桜山等、様々な意見が挙がっている。

7月のアンケート調査では、探究力に関する問い「問いを見つけたり、1つの問いから新しい問いを見つけたりしています」と「問いや答えを考えたり、答えをもとに問いを更新したりしています」に対して、いずれも79.7%の児童が肯定的回答をしているが、他の資質・能力と比べて低い数値である。問いを見つけたり更新したりできる児童は限られており、探究力の個人差は大きい。

学習の題材

児童の興味・関心を単元の中心に据え、1学期に「タコ」、2学期は「三原城」を題材として扱い、学習を進める。2学期後半では、1・2学期の学習をふまえ、児童それぞれが「タコ」か「三原城」のいずれかを選択し、まとめ・表現に取り組んでいく。

1学期単元では、調べ学習の中で、今年の記録的な不漁に焦点を当て、タコの不漁問題の原因や解決策を考えることを探究課題として設定する。2学期単元前半では、児童が抱えている三原城への問いを解き明かすことを探究課題として設定し、学習計画を立てさせる。どちらのテーマにおいても、出前講座やフィールドワークを経験する中で、得た知識や学んだことをどう発信すべきか全員で検討していく。こういった学習過程を経ることで、2つの題材を自分の意思で選択させ、主体性を育むことができる。また、探究の中で問いを立て、解決に向けて取り組む中で、不漁問題に対する取組や、三原城の歴史の発信方法を論理的に考えたり、学んだことや伝えたいことを効果的に表現したりする力を高めることができる題材と言える。

単元の目標

三原の観光を支えるタコ漁や三原城に関わって、それぞれが抱える課題を解決するための取組を考えることを通して、地域のよさやそれを支える人々の願いや努力を理解し、地域のために自分たちでできることについて考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

2 「見方・考え方」を働かせ、深く学び合う指導の手立て

(1) 総合的な学習の時間における「見方・考え方」を働かせる手立て

○広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉えるために

タコ漁や三原城の歴史に詳しい方から直接お話を聞いたり、実際にフィールドワークをして情報を収集したりして、多様な角度からタコや三原城の歴史に迫っていけるようにする。

- ・タコ漁…三原市漁業協同組合の漁師さん、職員さんとのリモート水産教室を実施
- ・三原城…みはら歴史と観光の会の方との標柱めぐりを実施

また、三原のタコ、三原城の特徴に気付かせていくために、必要に応じて他地域の漁や歴史と対比させながら学習を深める。

- ・三原のマダコ⇔北海道のミズダコ、兵庫県のマダコ 等
- ・三原城⇔県内の城…福山城、広島城 他地域の類似する城…高松城、今治城、中津城（日本三大水城）等

○実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けるために

自分たちの生活とタコや三原城を関連付けて考え、必要感をもって課題解決に取り組ませることを目的に、まとめ・表現の場面で本気で取り組んでみたい探究テーマを選択させる。また、探究を進める中で出会う地域の方々との関わりから、地域のために自分たちにできることを考えさせることで、自己の生き方を考えることにつなげていく。

(2) カリキュラム・マネジメントを通して、各教科等における「見方・考え方」を総合的に働かせる手立て

○国語科…「新聞記事を読み比べよう」「和の文化について調べよう」

新聞記事からタコ漁の諸課題を発見できるよう、新聞の読み方や記事の比べ方について国語科での指導を生かす。また、和の文化の歴史やその調べ方、図やグラフ等、資料を活用したまとめ方を参考にして成果物を作成したり、和の文化と三原城の歴史を結び付けて時代背景や当時の暮らしを理解できるよう、年表等を活用したりする。

○社会科…「わたしたちの国土」「あたたかい土地の暮らし」「水産業のさかんな地域」等

タコ漁が盛んである三原の地形や気候の条件をまとめたり、他の地域の漁業と比較したりすることを通して、今後の三原のタコ漁がどのように発展していけばよいかを考えたり、タコ漁の伝統を守っていくために自分たちがどのように関わっていけばよいかを考えたりすることに活用する。

(3) 学習ツールの活用

○ICT 機器

本学級の児童は、ICT 機器の活用に慣れ、比較的不自由なく操作できる技能を身に付けている児童が多数いるが、画面上の操作のみで活動が終わり、実感の伴わない活動になることが懸念される。したがって、場面に応じ、ICT 機器を活用する活動、直接手を動かしたり、体験したりする活動をバランスよく配置する必要がある。現時点での ICT 機器の活用計画は次の通りである。

- ・課題の設定…分かっていること、知りたいことを確認するため、大型テレビで写真や動画を視聴する。
- ・情報の収集…個人やグループでの情報の収集や情報の共有を円滑に進めるために、検索機能やドキュメント、ジャムボードを活用する。対面での接触が難しい場合は、ミートを活用した出前講座を行う。
- ・整理・分析…視覚的に分かりやすく整理・分析できるよう、ジャムボードを活用する。
- ・まとめ・表現…必要に応じてスライドやミートを活用し、成果物を作成したり、成果を発表したりする。等

○思考ツール

本学級の児童は、総合的な学習の時間や国語科、社会科等の学習の中で思考ツールを活用している。現段階では、児童自身で目的に合う思考ツールを選択して活用できる段階には達していないが、教師とともに目的に合う思考ツールを選定することで、思考ツールの使い方を習得し、よさを感じられるように次の場面で活用する。

- ・知識や問いを分野別、時代別に分類する場面…XYチャート
- ・児童の考えを理由付ける場面…クラゲチャート
- ・2つの観点から意見を分析する場面…座標軸
- ・成果物のできばえを評価する場面…PMI シート 等

3 単元の評価

(1) 内容のまとめりごとの評価規準

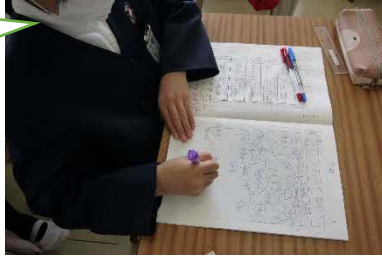


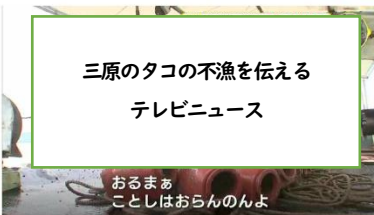

※太枠は本校で重点的に育成を図る資質・能力

評価の観点		学習活動（小単元）における評価規準		
		1 三原のタコのピンチを救え	2 三原城の歴史をたどる	3 三原の観光を盛り上げよう！
知識・技能	知識	探究テーマに関する知識を関連付けて構造化し、統合化された概念として理解している。		
	技能	探究の過程における課題解決の技能を習得し、日常の様々な場面で活用している。		
	探究的な学習のよさの理解	学習と生活のつながりを意識し、学習を振り返ることで、探究的な学習のよさを理解している。		
思考・判断・表現	「課題の設定」	探究力	探究テーマを取り巻く状況の中でのよさや問題点から問いをもち、課題を設定している。	解決への方法や手順を考え、確かな見通しをもって計画を立てている。
	「情報の収集」		本やインターネット等を活用し、必要な情報を多様な方法で収集する中で、問いを更新している。	蓄積した情報を評価し、足りない情報を収集している。
	「整理・分析」	論理的思考力・表現力	目的に合う方法で筋道立てて思考し、情報の共通点や相違点を見つけ、関係や傾向を明らかにしている。事象を比較したり関連付けたりして、確かな理由や根拠を表現している。	相手や目的に応じて、情報を精査している。
	「まとめ・表現」			相手や目的に応じて、効果的な表現をしている。
主体的に学習に取り組む態度	自己理解・他者理解	活動の中で、自分の特徴やよさを理解しようとしている。異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。		
	主体性・協働性	主体性	自分で課題を決めて、目的に合うよりよい方法を選択し、課題解決をしようとしている。	
		協働性	自他の意見を大切にし、よりよい解決に向けて、自分にできることを見つけて行動しようとしている。	
将来展望・社会参画	実社会、実生活の課題解決に取り組む中で、積極的に社会に関わり、自己の生き方を考え、自らの生活や行動に生かそうとしている。			

(2) 子どもたちが考えた「子どもルーブリック」

知識・技能及び資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
主体的に学習に取り組む態度	【主体性】 自分で決めて行動する力	自分で課題を決めて、目的に合うよりよい方法を選択し、課題解決をしようとしている。	自分で課題を決めて、目的や状況に合うよりよい方法を選択し、自分から課題解決しようとしている。
	【協働性】 みんなと協力する力	自他の意見を大切にし、自分にできることを見つけて行動しようとしている。	自他の意見を大切にし、友達とサポートし合って（時には役割分担して）行動しようとしている。
思考・判断・表現	【探究力】 問い続ける力	問いや答えを見つけたり、問いを更新したりしている。	問いや答えを見つけたり、関連付けたりして、問いを更新している。
	【論理的思考力・表現力】 筋道立てて考え、豊かに表現する力	目的に合う方法で筋道立てて思考し、自分の考えと根拠を表現している。	目的に合う方法を選んで筋道立てて思考し、自分の考えと根拠をみんなに分かりやすく表現している。
知識・技能		学習した内容を身に付けている。	身に付けたことを様々な学習の中で活用している。

4 指導計画 (全 50 時間 本時 20/50) ♥ 三原だるまプラン:「ショック多発型」

	探究の過程 資質・能力	学習活動	評価方法
<p>一 テーマ決定・仮の探究課題の設定①・探究</p> <p>《1学期〜2学期前半》 三原のタコのピンチを救え (16)</p>	<p>情報の収集 主探 整理・分析 探論</p> <p>課題の設定 主</p>	<p>○三原に対する興味・関心を出し合い、探究テーマを決める。(1)</p> <div data-bbox="534 358 901 616"> <p>タコ、三原城、てんぐソース... 調べたいことがいっぱい!</p> <p>①タコ ②三原城 ③個人テーマ という順で、みんなの興味・関心 を中心に据えた学習単元に!</p> </div>  <p>○学習計画を立てる。(1)</p> <div data-bbox="518 660 1268 728"> <p>仮の探究課題：三原のタコについて調べ、詳しくなろう!</p> </div> <p>○ループブックを作成する。(1)</p> <div data-bbox="534 772 813 963">  <p>協働性のAの姿は「役割分担」 がキーワードだね!</p> <p>昨年度のループブックを参考にBを設定し、レベル アップしたAの姿をみんなで話し合って設定!</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・発言 ・イメージマップ ・ワークシート ・行動観察 <ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・ワークシート
	<p>情報の収集 協探論</p> <p>情報の収集 整理・分析 主論</p>	<p>○三原のタコに関わる疑問を全体で共有し、個人で調べる。(2)</p> <p>○グループで手分けをして三原のタコに関する疑問を調べ、資料をもとに、三原のタコの現在の状況を知る。(2)</p> <p>○三原のタコに関わる動画を視聴し、三原やっさタコの味や漁の方法について知る。(2)</p> <p>○三原のタコの不漁問題を取り上げた新聞記事を読み取る。(1)</p> <div data-bbox="526 1209 718 1422"> <p>三原のタコの 不漁を伝える 新聞記事</p> </div>  <p>不漁の原因は分からないけど、地球温暖化やコロナ禍の釣りブームも影響しているかもしれないね。</p> <p>○不漁問題についてのインタビュー動画を見る。(1)</p> <div data-bbox="606 1467 893 1691">  <p>漁協に集められたたくさんのアー。これが網に引っかかって、漁を妨げているのだそう...</p> </div> <div data-bbox="909 1478 1284 1691"> <p>三原のタコの不漁を伝える テレビニュース</p>  <p>おるまあ ことしはおらんのんよ</p> </div> <p>♥ 今年は三原やっさタコが不漁。漁師さんたちも困っている。タコの不漁問題を解決するお手伝いはできないかな。</p> <p>○出前講座を行い、三原市漁協の方の話を聞く。(3)</p> <div data-bbox="534 1814 1220 2004">  <p>三原の漁師さんは「山だて」をして、壺を仕掛けた場所が分かるんだね。</p> <p>三原やっさタコの タコ飯! プリプリ でおいしいよ!</p> </div> <p>○不漁問題を解決する取組を考え、今後の見通しをもつ。(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・OPPA ・ワークシート <ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・行動観察 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ノート

夏休み



タコの日のタコ供養に参加



小早川隆景展に参加



「みはら歴史と観光の会」の方と連携

情報の収集
課題の設定

主探

整理・分析

協論

課題の設定

協論

情報の収集
整理・分析

協探

情報の収集
整理・分析

主探

児童の興味・関心
に応じてフィールド
ワークと出前講
座の順番を変更

情報の収集

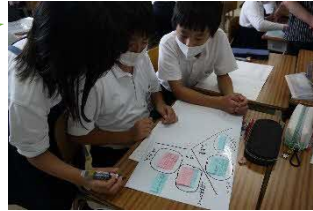
主論

まとめ・表現

主

- 学習活動を振り返り、ループリックを修正する。(1)
- 三原城の知識や問いを書き出し、探究課題を設定する。(2)

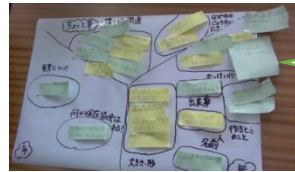
もともとあった知識(赤)と
新しく得た知識(青)を整理



みんなの知りたいことは三原城や地域
の昔から今にまたがっている!

仮の探究課題: 三原城の今と昔を調べ、歴史をたどってみよう!

- 三原城の問いを整理し、追究したい問いを決める。(1) **本時**



もともともっていた問い(黄)と新たな問い
(緑)をYチャートに整理

- ・班活動で新たな問いを明記...5/9班
- ・探究力に対する自己評価 A...12人 B...21人

- 個人の探究課題を設定し、追究したい問いについて調べる。(2)
- フィールドワークを行い、三原城の標柱をめぐる。(4)



みはら歴史と観光の会の皆さん
と、市内の標柱巡り!

こんなに広いお城を築いた小早川隆景は
どんな人物なのか。なぜ、築城したのか。

- 小早川隆景展に参加し、詳しく話を聞く。(2)



小早川隆景展(アンコール展)に
参加する中で、出前講座として、
三原市教育委員会文化課の方に
子ども教室を開いていただき、小
早川隆景について学習

- ♥三原城は天主がないけど、立派なお城だった!
三原城を海から築城した小早川隆景は知将だった!
ずっと近くに住んでいたのに三原城のことをよく知らなかった。
- 出前講座とフィールドワークで知ったことをもとに、昔から現在
に至る三原の町の変遷をまとめる。(2)
- 地域の昔と今を比べ、未来の三原について話し合う。(2)
- 学習の振り返りを行い、今後の見通しをもつ。(1)

- ・発言
- ・イメージ
マップ
- ・ワークシ
ート
- ・Yチャ
ート

- ・ノート
- ・発言

- ・ノート
- ・行動観察
- ・ワークシ
ート

- ・ワークシ
ート

二 仮の探究課題の設定②・探究

《2学期前半》

三原城の歴史をたどる

(17)

地域の行事

10月下旬 漁協まつり

11月上旬 浮城まつり

まとめ・表現

協 探

課題の設定

主 協

整理・分析

まとめ・表現

論 協

情報の収集
整理・分析

主 探 論

まとめ・表現

協 論

ふりかえり

主 探

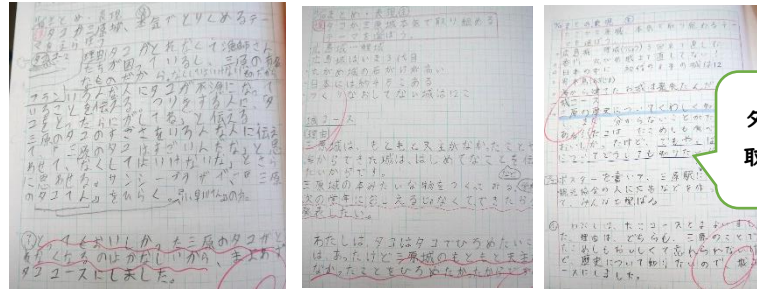
- 学習活動を振り返り、探究課題を更新する。(1)
 - ・タコ…不漁問題
 - ・三原城…長い歴史

三原の観光を支える食と歴史

真の探究課題：三原の観光を私たちの手で盛り上げよう！

ゴール：他学年児童や保護者、地域の方や観光客にタコや三原城の魅力を伝える観光案内を作成し、市内で配付（予定）

- 取り組むテーマ（タコ・三原城）を選択する。(1)



タコと三原城、本気で取り組める方を選択！

- チームを編成し、今後の学習計画を立てる。(1)
- チームに分かれて、成果物の作成に取り組む。(4)



興味・関心が近いメンバーでチームを結成して成果物を作成！

- まとめ・表現の中間報告会を行う。(2) 【相互評価】



目的に沿ったものになっているか、PMIシートを活用して互いの成果物を評価！

- 中間報告会での意見を参考に修正し、作成を進める。(4)



友だちからもらった改善案（黄色の付箋）を吟味し、意見として採用するかどうかを話し合ってから修正作業を開始。採用しない意見は白い付箋に変更して情報を整理！

3月上旬、各連携先にて成果物の掲示、配布、披露予定

- 他学年の児童からコメントをもらう。(2) 【外部評価】
- 他クラス児童や地域の方のコメントをもとに、本単元の振り返りを行い、地域のよさ、自己の成長を確認する。(2) 【自己評価】

・ワークシート

・発言
・行動観察
・ノート

・行動観察
・成果物

・PMIシート

・ワークシート
・行動観察
・成果物

・OPPA

5 本時の学習

(1) 本時の目標

三原城に関する個人の問いを班で共有して整理し、自分が追究したい問いを決めることができる。

(2) 本時の評価規準 (探究力のルーブリック)

B：問いの共通点や相違点を見つけたり、問いを更新したりし、自分が追究したい問いを決めている。

A：問いの共通点や相違点を見つけたり、知識や問いを関連付けたりして問いを更新し、自分が追究したい問いを決めている。

(3) 本時の展開

	学習活動	○指導・支援 ★評価 (評価方法)
情報の収集・課題の設定	1 問いと学習内容を振り返る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・これだけたくさんの問いがある。 ・全部解決することができるかな。 ・どれから手をつけたらいいんだろう。 ・分担して取り組まないと終わりそうにない。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問いがまとまっていない状況を視覚的にとらえさせることで、情報を整理する必然性をもたせる。 ○ 全員で育成を目指す資質・能力として、探究力を設定し、その他、自分が意識したい力 (主体性・協働性) を選択させる。
	三原城の問いを整理して、自分が追究したい問いを決めよう。	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・整理・分析 ・探究力 (+主体性, 協働性) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まとめ形式, 振り返りの視点をあらかじめ示し, 見通しをもたせておく。
10分	3 個人の問いを班で交流し, 整理する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> お互いがどんな問いをもっているのか, 交流して班でまとめてみよう。 </div> 【活動の手順】 ①ホワイトボードのYチャートに付箋を貼り, 時代別「昔」「少し前」「今」に分ける。 ②類似した問いをグルーピングする。 ③キーワードや矢印をホワイトボードに書き込む。 ④友達との交流から「新たな問い」が出た場合, 新しい付箋に書き出していく。(緑の大きい付箋) ⑤整理が済んだらホワイトボードを写真に撮り, 提出する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いが円滑に進むよう, 話し合いのルールをあらかじめ伝えておく。 ・自分の付箋を読んで友達に伝える。 ・共通点や相違点を見つけながら話し合う。「同じです」「似ています」「少し違います」 ・疑問に思ったことは質問する等, やり取りをしながら話し合う。「質問があります」 <p>★ 問いの共通点や相違点を見つけたり, 問いを更新したりしている。(発言・行動観察・付箋・ホワイトボード)</p>
	4 全体で交流し, 整理する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 各班でまとめた内容を, 全体で整理してみよう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【昔】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三原城はどのくらいの広さだったのか。 ・三原城の特徴は, どんなどころなのか。 ・三原城にはどんな人が何人ぐらいいたのか。 ・なぜ小早川隆景は三原に城を建てたのか。 ・三原城をつくったのは, 本当に小早川隆景なのか。 <p>【少し前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ三原城はなくなったのか。 ・三原城はいつから, 今の形になったのか。 ・三原城の海はいつ町になったのか。 ・どうして城跡公園になったのか。 </div>	
整理・分析②		<ul style="list-style-type: none"> ○ クラス全体の問いを関連付けながら整理できるように, 1つの班のホワイトボードをもとに, 類似する問いを付け加えながら意見を交流させる。 ○ 探究課題と問いのつながりが構造的に理解できるよう, 時代ごとに分けて板書を整理するが, 時代をまたがって関連し合う問いについては線で結んでおく。 ○ 正しく価値のある情報を収集させていくために, 調べたことを発信するという最終的なゴールを見据えて活動できるよう声をかける。

20分	<p>【今】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜお堀の周りに鯉がいるのか。 ・なぜ養魚場で育てられた鯉が放流されているのか。 ・なぜ三原駅と城跡は同じになって(つながって)いるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな問いが出てきた班については、その経緯を発表させ、探究力の価値づけを行うことで、探究することの具体的な姿を全体で共有できるようにする。
10分	<p>5 学習をまとめ、自分が追究したい問いを決める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 私は、〇〇について調べたい。 〇〇という問いを追究したい。 </div> <p>6 学習の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 今日の振り返りを書こう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 私は、三原城の広さについて知りたいと思っていたけど、三原城は何の目的で造られたのかという問いから、その目的を達成させるために、広い敷地の城を造ろうと思ったのかもしれないと感じ、もっと詳しく調べようと思った。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の話し合いを通して、「こだわって追究したい」と思う問いを選び、個人の探究課題の設定へとつなげる。 ★ 問いの共通点や相違点を見つけたり、問いを更新したりし、自分が追究したい問いを決めている。(発言・ノート) ○ 今日の学習でどんなところで探究力を高めることができたと思うか、また、個人の目指した力(主体性・協働性)について、振り返りをする。

(4) 板書計画

わがまち三原の今と昔

9/29 整理・分析 探究力(主体性・協働性)

① 三原城の問いを整理して、自分が追究したい問いを決めよう。

② 私は、〇〇について調べたい。〇〇という問いを追究したい。

③ 振り返りの視点

正しい情報
価値のある情報

三原城の今と昔を調べ、
歴史をたどろう！

➔

発信

今

鯉

少し前

歴史公園

昔

城跡と駅

埋立地

つくり・広さ

目的・役割

小早川隆景

大型テレビ

活動の手順
(班活動)

- ①問いを時代ごとに分ける。
- ②問いをグルーピングする。
- ③キーワードや➔を書く。
- ④新しい問いを付箋に書く。
- ⑤写真を撮って提出する。

(全体)

- ①各班の考えを交流し、整理する。
- ②自分が追究したい問いを決める。

➔

ホワイトボード写真